

俺と 電車と ケータイ



烏賊松



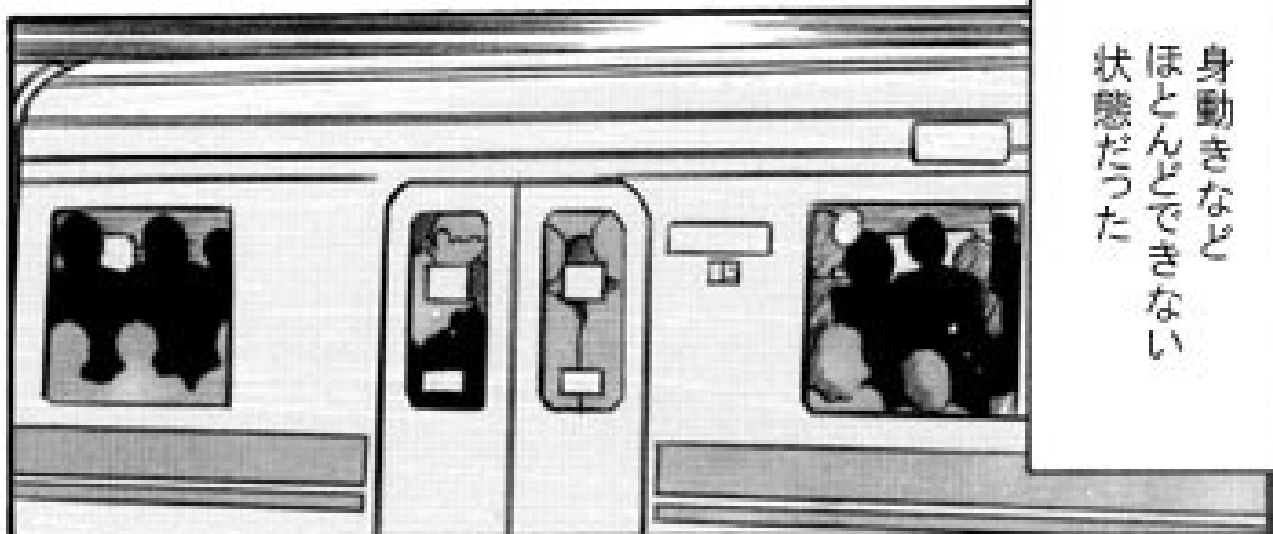
毎日の通勤に使っている
○急線



その混み方は
すさまじく



以前は郊外に
住んでいたから
毎朝準急電車で
通勤していた



身動きなど
ほとんどできない
状態だった

だが
そんな過酷な毎日も
まんざら嫌じゃ
なかった



そう

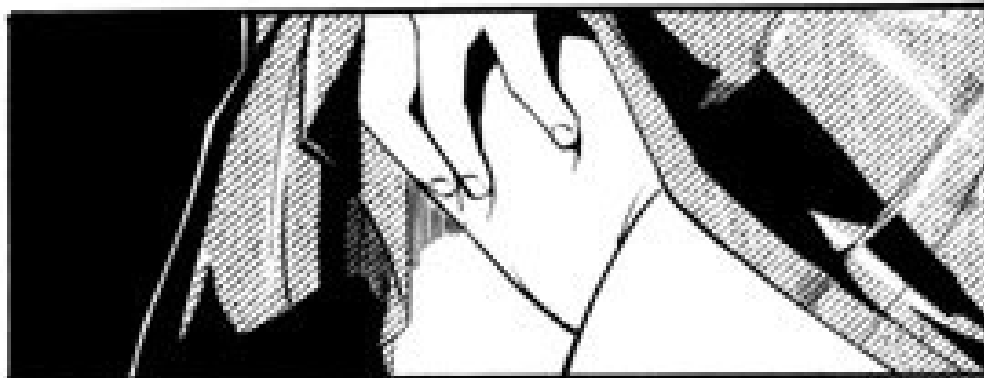


毎日痴漢の
し放題だった
からだ

満員電車
だから「その
醍醐味



あの頃は毎朝
電車に乗るのが
楽しくて仕方
なかった



日替わりで
いろんな女の子に
触りまくったものだ

日課というか
習慣というか

今にして思えば
ほとんど病気の
ように痴漢を
しまくっていた



そんな
夢のような日々も
今となつては
遠い思い出



都心にほど近い
マンションに
引越してから

それほど混雑する
電車に乗る事も
なくなり...



痴漢をする機会も
しようにとする意欲も
すっかりなくなった



条件反射のように
痴漢をしていた
あの頃がウソの
ようだ



しかし
つい先日

いつもは空いている
普通電車が
珍しく
混んでいた



それでも
身動きができない
という程でもなく



俺はいつものように
ポーツとドアの近くに
乗っていた



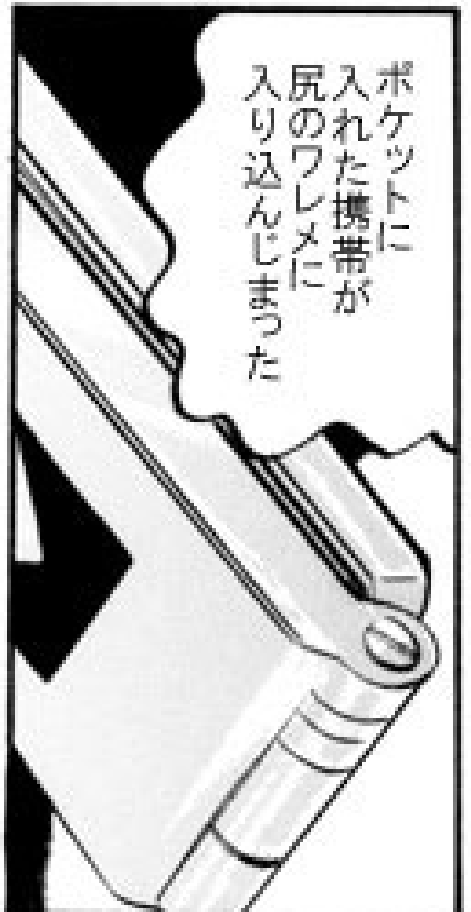
…の

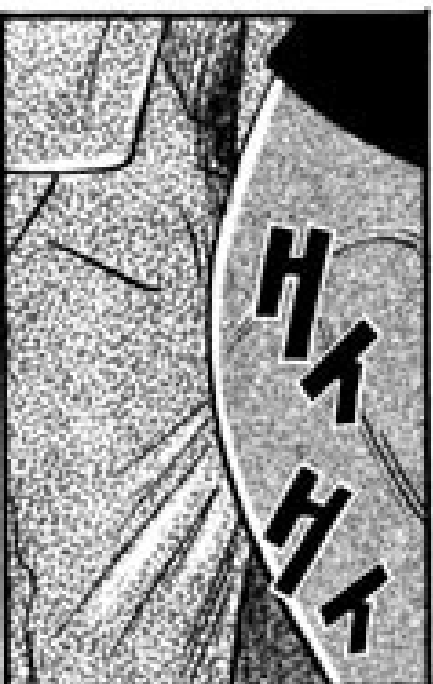
だが…













だめだ
だめだ
だめだ



……



もうガマン
できねえ！



クソッ
頭にくるな

願ってもない
エモノが
目前にいるっての

これじゃ
ナマ殺したぜ



手が自由に
動かせねえじゃ
ねーか！



なんだよ
今日に限って
このビミョーな
混みっぷりは？！

あああああゝ

触りてええええええ！

携帯なんかじゃ
なくて

俺のホンモノを
そのワレメに

差し込んで
やりたいで
ゴリ

くっ

うゝ...



おっ

携帯の
バイブで
そんなに
感じるのか…？

「んんん」
腰振るが止まらず

めっけを
気持ちよく
だな



何もできない
なんて
歯がゆすぎる

せつかくの
チャンス
なのにー!!

なんとか直接
触つてやろうと
ジタバタ
してみたが

直接は何も出来ないまま
電車は駅に
着いてしまった

せめて最後に
一矢報いたいと
思ったものの

降り際
尻をわしづかみに
してやるのが
精一杯だった



あの日から
俺の中で
すっかり眠っていた
モノが

ムクムクと
頭をもたげ始めた

さすがに
昔のような頻度
ではないが

チャンスを見つけては
時々痴漢を
するようになった

偶然の産物だった
携帯のバイブ攻撃

ちよつと
ハマってます

